



平成 29 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 カ ッ パ ・ ク リ エ イ ト 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 四 方 田 豊
(コード番号 7421 東証 1 部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 理 部 長 小 林 元 樹
(TEL 045-224-7095)

**減損損失の計上、繰延税金資産の取り崩し及び業績予想の修正
並びに配当予想の修正に関するお知らせ**

平成 29 年 3 月期における減損損失の計上、繰延税金資産の取り崩し、及び平成 28 年 10 月 27 日に公表した通期業績予想の修正並びに平成 28 年 4 月 27 日に公表した配当予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

当第 3 四半期連結累計期間において収益が低下した当社が運営する店舗について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく回収可能性を検討した結果、新たに 105 店舗に対し 1,322 百万円の減損損失を計上することといたしました。

2. 繰延税金資産の取り崩しについて

当社は、当第 3 四半期連結累計期間の業績推移を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重かつ保守的に検討した結果、当第 3 四半期連結会計期間において繰延税金資産を全額取り崩し、法人税等調整額を 3,718 百万円計上することといたしました。これら減損損失の計上及び繰延税金資産の取り崩しのいずれもが、当社の事業構造改革を速やかに行うための前向きな処理と認識しております。

3. 通期業績予想の修正

(1) 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	82,684	1,934	2,114	1,177	24.21
今回修正予想(B)	78,832	△934	△737	△5,904	△121.39
増減額(B-A)	△3,852	△2,868	△2,851	△7,081	
増減率(%)	△4.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	80,320	2,549	2,723	5,281	108.75

(2) 業績予想修正の理由

消費者の節約・選別志向が益々厳しくなる中、国内回転寿司業態における営業戦略の不徹底及び作業スキルのブラッシュアップ不足により、店舗オペレーション力の低下を招き、来店客数の減少、商品廃棄ロス及び人件費などのコストが増加した結果、売上高及び利益が減少いたしました。また、昨年10月より実施したりブランディング戦略は、「かっぱ寿司」ブランドのお客様認知度の向上や客単価の上昇などの点において一時的な効果はあったものの、広告宣伝費や販売促進費等の投資を回収するための収益の改善には繋がらず費用が先行したことにより利益を圧迫する要因となりました。しかしながら来期に向け、不採算店舗の抜本的な減損処理を実施するとともに、繰延税金資産を全額取り崩すことにより経営上の不確定要素を排除した上で、従来の枠組みにとらわれることなく全社的な事業構造改革を推し進めて参ります。更には、コロワイドグループの全面的な協力を受け、競争力低下の背後にある問題点の抽出及びその克服、並びに営業戦略の再構築を現在行うなど、来期における収益のV字回復に向け邁進しております。

4. 配当予想の修正

(1) 配当予想修正の理由

当社は、財務体質と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様へ安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針としております。

しかしながら、当期末の配当につきましては、年間で1株当たり20円とする旨お知らせしておりましたが、上述いたしました減損損失の計上、繰延税金資産の取り崩しを行うことから、誠に遺憾ではございますが見送らせていただくことといたしました。

(2) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成28年4月27日発表)		20円00銭	20円00銭
今回修正予想		0円00銭	0円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (平成28年3月期)	0円00銭	20円00銭	20円00銭

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上